

## 総括質疑並びに一般質問（個人質問）

【質問日】令和6年12月12日（木）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
14	坂口正幸	<p>1 入来麓、清色城跡について</p> <p>(1) 国指定史跡清色城跡の発掘調査をする予定はあるか。</p> <p>(2) 清色城跡の復元模型を郷土館に展示する考えはないか。</p> <p>(3) 合併前、発掘調査で発掘された水樋などは、現在どこに保存されているか。</p> <p>2 史跡の案内看板について</p> <p>(1) 旧入来町時代に設置された各種史跡案内看板の現況は</p> <p>(2) 市内に点在している文化財について、今後どのように考えているか。</p> <p>3 寄贈された屋敷の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入来麓内の三輪家住宅の現況は</li> </ul> <p>4 入来麓交流館について</p> <p>(1) 入来麓への観光者の現況は</p> <p>(2) 交流館に広い畳部屋が必要ではないか。</p> <p>(3) 交流館の石垣は積み直しできないか。</p> <p>(4) 入来麓の電線は地中化できないか。</p>
15	成川幸太郎	<p>1 コメ価格について</p> <p>(1) コメ価格の高騰が続いている現状をどのように捉えているか。</p> <p>(2) コメの生産コストの上昇分の価格上昇はあり得るとしても、現状の価格は適正であると考えているか。</p> <p>(3) JAの買取価格が前年の2倍程度になったといわれているが、令和5年米の買取価格と令和6年米の買取価格はどのようになっているか。</p> <p>(4) JAの買取価格によって、自主流通米で予定されていたものまで供出されたといわれているが、そのような実態があるのか。</p> <p>(5) コメ価格の高騰により、代替食品として、うどんやパスタといった麺類の消費が拡大しているとのことであるが、今後コメ余り状態になることが考えられないか。</p> <p>(6) 現状では、家計や飲食業における負担が重くなることが想定されるが、本市独自のコメに特化した負担軽減措置は考えられないか。</p> <p>2 道路・橋梁改修工事について</p> <p>(1) 都市計画道路横馬場田崎線の現状と今後の見通しはどのようになっているか。</p> <p>(2) 通称宮崎バイパスの現状と今後の見通しはどのようになっているか。</p> <p>(3) 赤沢津橋の現状と今後の見通しはどのようになっているか。</p>
16	帯田裕達	<p>1 マルチ医療DX事業について</p> <p>(1) 導入からの登録者数は</p> <p>(2) それぞれの加入施設数は</p> <p>(3) 今後どのように展開されていくのか計画を示せ。</p> <p>2 本市の防犯カメラ設置状況について</p> <p>(1) 防犯カメラ設置の施設名と台数（道路を含む。）は</p> <p>(2) どのような効果があったか具体的に示せ。</p>

		<p>(3) 購入額、維持管理費は</p> <p>(4) 今後の設置計画があれば示せ。</p> <p>3 市立小・中学校の防犯カメラの設置状況について</p> <p>(1) 設置状況を示せ。</p> <p>(2) 防犯、犯罪の抑止力として効果があると考えが設置する考えはないか。</p> <p>(3) 設置する考えがあれば計画を示せ。</p> <p>4 総合体育館のサブアリーナに移設された緞帳「総親和と躍進」の活用と今後について</p> <p>(1) 移設からこれまでの間、どのような形で市民の目に触れてきたか。</p> <p>(2) 今後の緞帳の維持管理費用をどのように試算しているか。</p> <p>(3) 現在、緞帳がどれほど市民に親しまれていると考えるか見解を示せ。</p> <p>(4) 今後、市民に親しまれるために、どのように取り組んでいくのか手法と見通しを伺う。</p>
17	松澤力	<p>1 川内原発の安全な稼働継続に向けて</p> <p>(1) 川内原発1・2号機の安全な稼働を進めていく上で、本市の今後の原子力防災の取組として、避難対策の充実や市民への更なる情報提供の方向性について伺う。</p> <p>(2) 世界的な燃料価格高騰等の影響で、家庭や企業の電気代の負担が重くなっており、エネルギーミックスの中での原子力発電による安定した発電の重要性が高まっていると考えるが、田中市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 今後、中東情勢の悪化や台湾有事のリスクにより日本のシーレーンの安全が脅かされる可能性もあり、エネルギー安全保障の面からも、川内原発1・2号機の安全な稼働継続に加え、より安全性を高めた新たな次世代原発（革新炉）の建設について、本市としても前向きに情報収集を進めていくことが大切だと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 安全な登下校環境の整備に向けて</p> <p>(1) 本市の中学生の自転車通学の要件について伺う。</p> <p>(2) 本市の中学生の自転車通学時におけるヘルメット着用状況や課題について伺う。</p> <p>(3) 近年の異常な暑さによる熱中症リスクの上昇や凶悪犯罪等の心配から、川内北中学校の保護者からは、駐輪場の増設等も含めて自転車通学を可能とする距離規定の緩和を求める声が出ているが対応を伺う。</p> <p>(4) 川内北中学校前の県道沿いに設置されている電灯付きの灯籠について、特に生徒が遅い時間帯に自転車で下校する際、安全確保の面から早期に修繕が必要だと考えるが対応を伺う。</p> <p>3 本市の水害対策の強化に向けて</p> <p>(1) 本市のホームページには、市民が防災行動に役立てるための「水門・ポンプマップ」が掲載されているが、現状の水門等施設の管理・運用方法について伺う。</p> <p>(2) 大雨の際に川の水が用水路等を逆流することを防ぐ「樋門」について、宮崎県では災害時に現場で水門操作をする人の安全なども考慮して、水門施設の開閉操作の自動化を進めているが、本市でも導入を進めていくことを検討できないか伺う。</p> <p>(3) 毎年の集中豪雨等で水害リスクが高まっている銀杏木川の冠水対策について、今後の取組状況を伺う。</p>